

貴重な宝物ずらり

「宝物とその歴史」展が9日、同寺で始まった。1200年の歴史を持つ両寺社の貴重な歴史資料に訪れた人たちが見入っている。11日まで。

真庭・木山寺、木山神社

古文書や書状120点

会場の同寺客殿に保管されていた神像は、寺が所蔵する古文など計約120点を、書や教典の写し、神社展示。戦国武将の字



古文書などの歴史資料に見入る来場者たち

喜多直家が同寺から届いた贈り物への感謝を、つづった書状をはじめ、両寺社の修復歴などを記した棟札、県重要文化財の同神社奥宮本殿で発見された鎌倉・江戸時代に作られた木彫りの神像などが並ぶ。

寺は弘法大師により弘仁6(815)年に開創したとされ、神社は同7年の創建と伝わる。寺が開かれてから1200年の節目を両寺社に親しみを持ってもらうきっかけにしようと、寺の所蔵品を2008年ごろから研究している大阪大学文学部研究科招へい研究員の中山一磨さんと(78)と訪れ、こんなに協力して初めて企画した。

たくさん古い資料があることに驚いた。長い歴史を感じる」と話していた。

午後10時〜午後4時半。入場無料。10日午後2時から同市教委職員らが両寺社の歴史などを解説する講座がある。定員は先着50人程度。資料代300円。(原本洋輔)

木山神社

奥宮本殿の改修完了

あす記念式典、演奏会

県重要文化財・木山神社奥宮本殿(真庭市木山)の改修工事が完了し、11日に作業を終了を祝う式典とイベントが企画されている。

奥宮本殿は入り母屋造りで高さ約13.5m、床面積は約60平方m。現在残るのは1580

年に再建されたものから地元住民の剣舞や落合中ブラスバンド部の演奏の披露がある。午後6時半からは、市内で活動する和太鼓グループのライブがあり、8曲ほどを披露する。

和太鼓の演奏会のみで、チケットは前売り券が一般2千円、小学生以下千円(当日は500円上乗せ)。同市鍋屋の久世エスパスで購入できる。問い合わせ

せは木山神社(0867620701)。同神社は816年の創建とされ、もともとは奥宮本殿がある標高約420mの山中に鎮座していたが、1962年に東約1kmの山の麓に里宮として遷宮された。

(原本洋輔)



改修作業が終了した奥宮本殿